

おんせん灯り夜市

宵の賑わい 灯りがともる温泉街

2025
12月12日(金)
15:00~19:00
晴湖湯周辺

本校1年生の総合的な学習の中で、「飯坂町活性化」について研究をまとめました。「おんせん灯り夜市」のアイデアを生かして、それを何と実現することになりました。

イルミネーションワークショップ
・黒板/牛乳パック等にイラストやメッセージを書いて灯りともそう！
・絵画コーナー
・材料/毛モッチャ(絵画の飯坂オリジナルゲーム！)

主催：飯坂温泉観光協会 青学館 中野の2021 福島市飯坂町十間町3 024-543-4241
企画/イラスト制作：福島市立大島中学校1年生

全校生で行灯作り

本校1年生の総合的な学習の中で、「飯坂町活性化」について研究をまとめました。「おんせん灯り夜市」のアイデアを生かして、それを何と実現することになりました。



1/2(水)に全校生で牛乳パックを使って行灯づくりを行いました。夜市当日、飾りつけられ、皆様の当日、足も運はれてはいないでしょうか。

(題名は、二年二組加藤優奈さんです。)



第五十五号
大島中学校
学校だより
令和七年十二月五日

心の解放感

スクールカウンセラー
菅原理恵

「自分で決めて守る力」を育てる！～時間のルールと心のオフライン～

保護者のみなさま
前回は、スマホが習慣化するメカニズムや、ねがいから始める具体的な声かけについてお話しました。今回は、具体的な時間のルール作りや、心と脳を休ませるオフラインの過ごし方についてお話します。

「自分で決めて守る力」を育むルール
前回、スマホの使いすぎは「習慣化」によるもので、頭ごなしに禁止するだけでは解決しないことをお伝えしました。ルール作りは、親が一方向的に押し付ける「制限」ではなく、子どもが自分の生活を管理する「自分で決めて守る力」を育む対話の機会となります。

①「なぜルールが必要か？」を共有する
ルールを決める前に、「なぜスマホの時間を管理する必要があるのか(睡眠不足、集中力の低下など)」を、子ども自身が納得できる言葉で説明しましょう。

②「時間帯と場所」で物理的に制限する
「何時間まで」という使用時間よりも、「夜22時以降はリビングの充電場所に戻す」「食事中は使わない」など、時間帯と場所で明確にルールを設けることが、最も効果的で分かりやすい方法です。特に、健康を守るため寝室には持ち込まないことを親子で約束しましょう。

③ルールは「話し合って見直す」
決めたルールは子どもの成長に合わせて柔軟に見直すことが大切です。時々、親子で話し合う場を設け、「このルールはもう必要ないか」「うまく守れているか」と子どもの意見を聞くことで、ルールへの責任感が芽生えます。

心と脳を休ませる「デジタル・デトックス」
SNSで消耗した心と脳を回復させるには、意識的にデジタル機器から離れる「デジタル・デトックス」の時間が必要です。

①「言葉なし」で繋がる時間
家族で一緒に夕食を準備する、リビングで並んで本を読む、簡単なパズルやボードゲームをするなど、デジタル機器から離れ、同じ空間で穏やかな時間を過ごしてみてください。

②「オフライン」の価値を再発見
デジタル機器から離れることで、子どもは好きな音楽をじっくり聞いたり、料理の匂いや味を楽しんだり、手を動かして何かを作ったりといった「現実の心地よさ」を通してリフレッシュできます。この時間が、自分らしさや集中力を取り戻す機会となります。

この時間は、保護者のみなさまにとっても、日々の忙しさから離れ、心穏やかな時間を取り戻すための大切な「心のメンテナンス」となります。ぜひ、ご自身の休息のためにも、一緒にオフラインの心地よさを味わってみましょう。

今回は、スマホの「時間の管理」と「心の休息」についてお話しました。次回は、「自己肯定感の守り方」や「ネットトラブルへの備え」についてお話します。



もっもっもと本に親しもう!!

～第4回 図書委員長(2年1組) 佐藤 結希さん～



①この本を初めて手にした時、思いあふれるように、懐かしい感じがしました。



②小学3年の7/24(金)、祖母がプレゼントくれた大切な本です。

③表紙に
みはうのよい丘に、となりどろでくわしている ひつじたらは、いっしょにあそびだり、おしゃべりだりとおくへでかけたりにしています。
…ともだちといると、自分のことか見えてくる
とあります。

④いろいろ考えさせてくれる本です。のろうのろう、せのせのろう、どうでもいいあと思えます。